

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	公表日				
ハッピー宮原駅東口教室	2025年10月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		個別・集団支援、利用されるお子様、プログラムによって適切に使い分けている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		お子様の様子や状態に合わせて配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		支援を行う部屋は必要最低限の掲示物にすることで視覚情報を減らし、集中しやすい環境設定を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8		毎朝の掃除に加えて、使用した教材を消毒する等、清潔な空間を保つことができるようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		お子様の様子や状態によって、空き部屋を使用する等してクールダウンしたり、職員と話すことができる環境を整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝終礼時や職員会議等を通して、業務改善を進める為の目標設定の共有や業務の進め方について話し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に1回アンケートを実施し、職員会議にて保護者様からいただいた意見を共有、改善策等を話し合う場を設け、業務改善に繋げられるよう話し合っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎月職員会議を実施し、情報共有や意見交換を行っている。また、業務の合い間に気軽に話せる雰囲気作りを努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	第三者評価は行っていないが、年に1回自己評価結果を公表し、業務改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		様々な研修を通して、自己研鑽できるプログラムが組まれている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		個別支援計画に沿ってプログラムを作成している。また、ニーズを踏まえた支援内容と5領域との関係性を明確にして公開している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		支援の中での対話や保護者様からご意見やニーズを伺いながら職員間で検討し、個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児発管を中心に教室職員で話し合い、全職員共通理解のもと、個別支援計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別ファイルに格納し、職員はいつでも確認することができるようにしている。支援の前には、作成された個別支援計画の確認や前回入った職員から引継ぎを受けることで計画に沿った支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		社内で決められたフォーマットを使用し、支援の中での様子や家庭・学校・他事業所様の情報も踏まえて聞き取りを行い、支援の中で行動観察も日々行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、具体的な支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		お子様の情報共有や話し合いを行いながら適切なプログラムの立案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員間で情報共有を行い、活動記録を確認しながら、飽きることがないようにプログラムを立てている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		お子様の様子や状態・必要に応じて個別・集団支援の提案を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		当日の支援内容を共有し、目標の確認や役割分担について支援に携わる指導員で打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		職員間で支援後、朝終礼等で情報共有や相談を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		活動記録を作成し、記録内容をもとにPDCAサイクルに基づいて、支援の検証を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にお子様の様子を保護者の方と共有し、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	8		個別支援計画と併せて確認しながら4つの基本活動に通ずる支援を提供している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		お子様の気持ちや考えを必ず確認しながら支援を進めており、気持ちに寄り添うかたちで自己決定に繋げている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		教室長や児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		保護者様からの要望を受けて、お子様が利用している他事業所や学校と連絡をとっている。協力医療機関の説明も行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者様を介して、イベントや行事、時間割の確認を適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者様のご希望を受け、必要に応じて実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	必要に応じて実施している。	学校を卒業し、放デイ（ハビー）を卒業する方はいらっしたが、移行先への情報共有の機会はなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		必要に応じて療育センター等との連携も行うことができるようにしている。また、区役所や保健センター等の行政機関と情報共有を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		現時点では実績はないが、地域に向けた案内は行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	参加する機会がないが、機会があれば参加する。	現時点で参加の実績はない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		フィードバックや相談支援を通して保護者様と情報共有し、お子様についての共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者会を行い、必要な情報の提供を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に必ず保護者の方に説明し、同意をいただいている。変更があった場合は教室内の掲示と併せて口頭でもお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画作成の前にアセスメントを行い、保護者様の意向やお子様の気持ちを確認する機会を必ず設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		書面を提示しながら説明を行い、保護者様の同意のご署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて個室での面談を実施し、相談支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会やイベントを通して交流する機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情解決対応フローチャートに沿って、解決に向けて迅速に行動し、管理者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		イベントの様子を写真として印刷し、コメント等も付けて教室で掲示している。また、行事予定等（連絡アプリ）コノヘルを活用して発信している。	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	個人情報に記載されたものはキャビネットで保管している。また、情報発信の際は確認を行い、十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	お子様や保護者様と意思の疎通を図る為に、視覚提示を行う等、伝え方に配慮したり、分かりやすい言葉でお伝えする等の工夫を取り入れて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	外部の関係機関の方の訪問は積極的に受け入れている。また、連携先等の地域の方へ活動内容の周知や教室イベントへのお誘いを行っている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	掲示や閲覧ファイルにて共有し、定期的に訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	業務継続計画を策定し、職員間で共有している。また、定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	契約時にアレルギーや服薬等を確認し、職員で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	契約時にアレルギー調査を行い、同意書を記入していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	安全計画を作成し、計画に沿った研修や訓練を定期的に行い、安全管理の徹底を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	掲示や閲覧ファイルにていつでもご確認いただけるよう設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	ヒヤリハット報告書の作成を行い、情報共有した上で、会議にて再発防止の検討を行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	虐待防止研修を全職員が定期的に通っている。また、年に2回虐待防止チェックリストを実施し、虐待防止に関する意識を高めている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	虐待防止研修と共に身体拘束適正化研修を全職員が受講している。また、身体拘束が予測される場合は、事前に個別支援計画に記載し、了承を得た上で支援を行っている。		